

緊急赤潮情報 R4-9

令和4年7月27日
大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

別府湾（日出港）にて有害赤潮プランクトンであるカレニア ミキモトイが、警戒密度を超えて確認されました。漁業被害の未然防止に努めてください。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査月日	調査場所	調査時間	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	カレニア ミキモトイ (細胞/ml)
7月27日	日出港	15:35	0	28.6	-	3,600

採水・検鏡：大分県東部振興局

- カレニア ミキモトイ
- ・ 注意密度
200 細胞/ml
 - ・ 警戒密度
2,000 細胞/ml



海洋状況表示システムを加工して作成

（カレニア・ミキモトイ赤潮の留意点）

- ①カレニア ミキモトイは、魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ②特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ③本種は赤潮の初期には中・底層で増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すプランクトンです。水色や漁模様の急変など海域監視の強化に努めてください。

（赤潮発生時の留意点）

- ①特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
- ②赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。